

令和2年度厚労省社会福祉推進事業

# 赤穂市のひきこもり支援について

～相談から居場所・家族のつどいへ～



赤穂観光マスコットキャラクター  
陣太くん

赤穂市社会福祉課保護支援係  
社会福祉課相談窓口え～る

見島 佳織

赤穂市社会福祉協議会

河内 悠希

# 赤穂市ってどんなところ？



## ◎「忠臣蔵のふるさと」「塩の国」

兵庫県の西南端、隣は岡山県。まちのほぼ中央を名水百選に選ばれた千種川が流れている。南は瀬戸内海に面していて、温暖で雨が少ない。

◎人口 46,634人 (R3.1末時点)

## ◎特産品

塩、みかん、牡蠣など、ほかにもおいしいものたくさん！

『「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂』は日本遺産に認定されています。



# 家族のつどい開催までの経緯【H27～R1年度】

生活困窮者自立相談支援事業開始から社協との目標共有まで

	赤穂市社会福祉課	赤穂市社会福祉協議会
平成27年度	生活困窮者自立相談支援事業開始。	
平成28年度	民生委員・児童委員対象にひきこもりに関するアンケート調査を行う。	
平成29年度	結果に基づき、訪問活動を行う。 ひきこもり状態の人の行き場を探す支援が増えていった。	相談事業の中で、自宅以外の居場所の必要性を感じ、ひきこもり事業を構想。
平成30年度		社協独自で居場所の開設について検討し、先進地の視察等行った。
令和元年度	民生委員・児童委員対象に2回目のアンケート調査を行う。 ひきこもり支援の事業化を目指し検討を始める。 同時期にひきこもり支援を検討していた社協の会議に参加し、構想を形づくる。	関係機関を招集し、ひきこもり支援に関する会議を開催。課題を整理した。

# 家族のつどい開催までの経緯【R2】

社会福祉課相談窓口「え～る」・居場所「みんなのいえ」開設から家族のつどい開催まで

	赤穂市社会福祉課	赤穂市社会福祉協議会
令和2年度	生活困窮者自立支援調整会議をひきこもり支援・相談のプラットフォームとして位置づける。	先進地視察、研修受講を行い、事業の準備をする。
	7月～社協への委託事業として「ひきこもり対策推進事業」を開始。	7月～市の委託を受けて事業開始。 (居場所の開設、市民啓発、関係機関との連携) 9月下旬「みんなのいえ」プレオープン
	10月1日 社会福祉課相談窓口「え～る」スタート	
		10月2日 居場所「みんなのいえ」オープン
		11月～ 毎月第4木曜日 「家族のつどい」開催

# 赤穂市の ひきこもり対策推進事業について

①相談業務・関係機関との連絡調整・情報発信

→ **赤穂市社会福祉課**

②ひきこもり状態にある本人・家族と地域とのつながりや  
交流の場の設置・運営

③一般市民向けのひきこもりに関する啓発講座の実施

→ **社会福祉協議会に委託**

# 令和2年度

## ひきこもり対策推進事業について

①相談業務・関係機関との連絡調整・情報発信

→ 社会福祉課相談窓口「え～る」

②ひきこもり状態にある本人・家族と地域とのつながりや  
交流の場の設置・運営

→ 居場所「みんなのいえ」

③一般市民向けのひきこもりに関する講座の実施

→ ひきこもり支援ボランティア養成講座

# 気軽に過ごせる地域の居場所 「みんなのいえ」

- ▶ 自宅から一歩踏み出した、安心して過ごせる居心地のいい場所を目指して開設
- ▶ 開設日時：月・水・金（祝日、年末年始を除く）  
13:00～16:00
- ▶ 開設場所：赤穂市塩屋656-17  
（旧デイサービス）
- ▶ スタッフ：2名（看護師、介護福祉士）
- ▶ 内 容：利用者同士の交流、読書、調理、農作業など



# みんなのいえ 内観



# 活動の様子



# ひきこもり家族のつどい

(11月26日より開催)

- ▶ 開催日時：毎月第4木曜日（祝日を除く）13：00～16：00
- ▶ 開催場所：みんなのいえ
- ▶ 参加者：11月 5組9名（内1名当事者、2名付き添い）  
12月 1組5名（内1名付き添い、2名関係機関）  
1月 1組4名（内1名見学、1名付き添い）  
2月 5組6名
- ▶ 内容：家族同士で日頃の思いや不安、疑問などを話し合う  
今の状況、子どもへの接し方、今後のことなど



# 家族のつどいに参加して



悩んでいるのはうちだけかと思っていたので、皆さんの話を聞いて少しほっとしました。



同じ親同士なので、気持ちがとても良く分かりました。



親だけでなく、本人も苦しんでいるんだと分かりました。

孤立感の軽減  
気持ちの共感

家族の気持ちの安定＝当事者の安定につながる



## これからの課題

- ひきこもり状態にある人やご家族とのつながり
- 居場所・家族のつどいへのつながぎ  
→え～る
- 家族との関わり
- 家族のつどい運営について

→みんなのいえ



今後、

「家族のつどい」が自然な形で

「家族会」に発展し、

家族の感じる困難さや課題をみんなで共有することで

孤立して、不安な気持ちを抱えた多くのご家族が救われるよう

赤穂市と赤穂市社協も一緒に悩み、見守り続けたいと思っています。

関係者のみなさま、これからも赤穂市、赤穂市社協へのご支援を  
よろしく申し上げます！



《スペシャルサンクス》

神戸市看護大学 教授 船越明子 先生  
認定NPO法人コムサロン21 谷口慎一郎 様  
NPO法人ひまわりの家 松本むつみ 様  
NPO法人陽だまりの会 松井勝也 様  
KHJ全国ひきこもり家族会連合会 森下徹 様